



様式1(主な取組)

活動指標名	ボランティアコーディネーター研修または検定の実施回数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1回	1回	1回	1回	0	1回	0.0%	4,504	未着手	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアコーディネーター研修等は中止し、コロナ禍におけるボランティア・市民活動の事例や推進策等の情報発信を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・ボランティア活動の円滑化及び活性化を図る新たな人材確保のため、県内ボランティア関係者を対象にボランティアコーディネーター検定を実施するとともに、コーディネーターに対する相談支援を行う。</p>						<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアコーディネーターの研修等は中止となったが、コロナ禍におけるボランティア・市民活動の情報発信を行い、ボランティア活動の普及に努めた。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ ボランティア活動の円滑化や活性化を図るため、ボランティアコーディネーターの役割や重要性を県民に対し周知し、活動の場を増やす必要がある。

##### ○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛した団体も多かった。
- ・ コロナ禍におけるボランティア・市民活動の推進支援を実施する必要がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ ボランティアコーディネーターの資質向上を図り、ボランティアを必要としている人々とボランティア希望者のマッチングを支援することで、地域住民が支え合うボランティア活動を行いやすい環境を整備する。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ ボランティアコーディネーターの資質向上に向け、ボランティアコーディネーターのネットワーク化と相互の活動内容の共有等を図る。